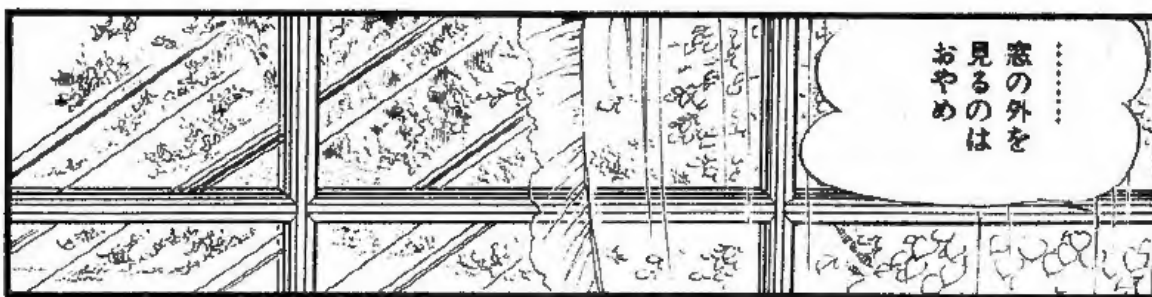


びっくり箱







…森のむこうには
ほんとうに
なんにもないの？
ママ



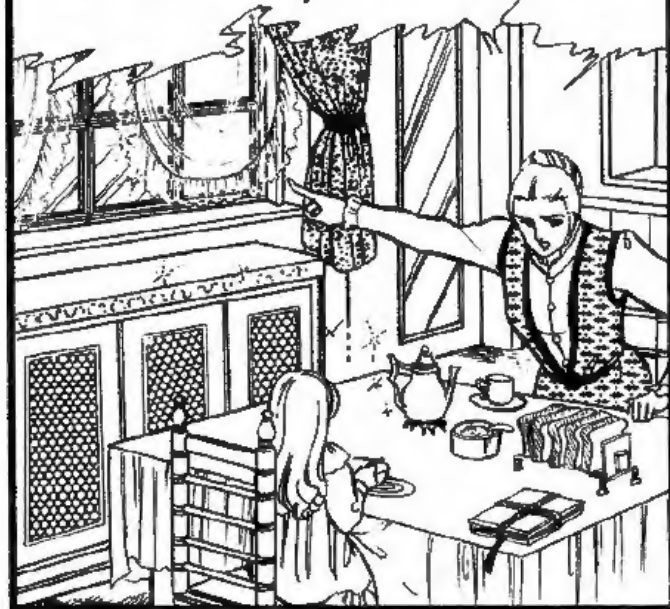
なんですって!?



ママがうそを
おしえたとても
いうの!!

あの森のはしで
世界は
おわってて
そのむこうには
なんにもないのよ!

おまけに
森には恐ろしい
怪物がいて
人を殺すんだよ



なんで
森のことなど
考えるの!?
おとうさんと
おなじ目に
会いたい
の!?



ママ!



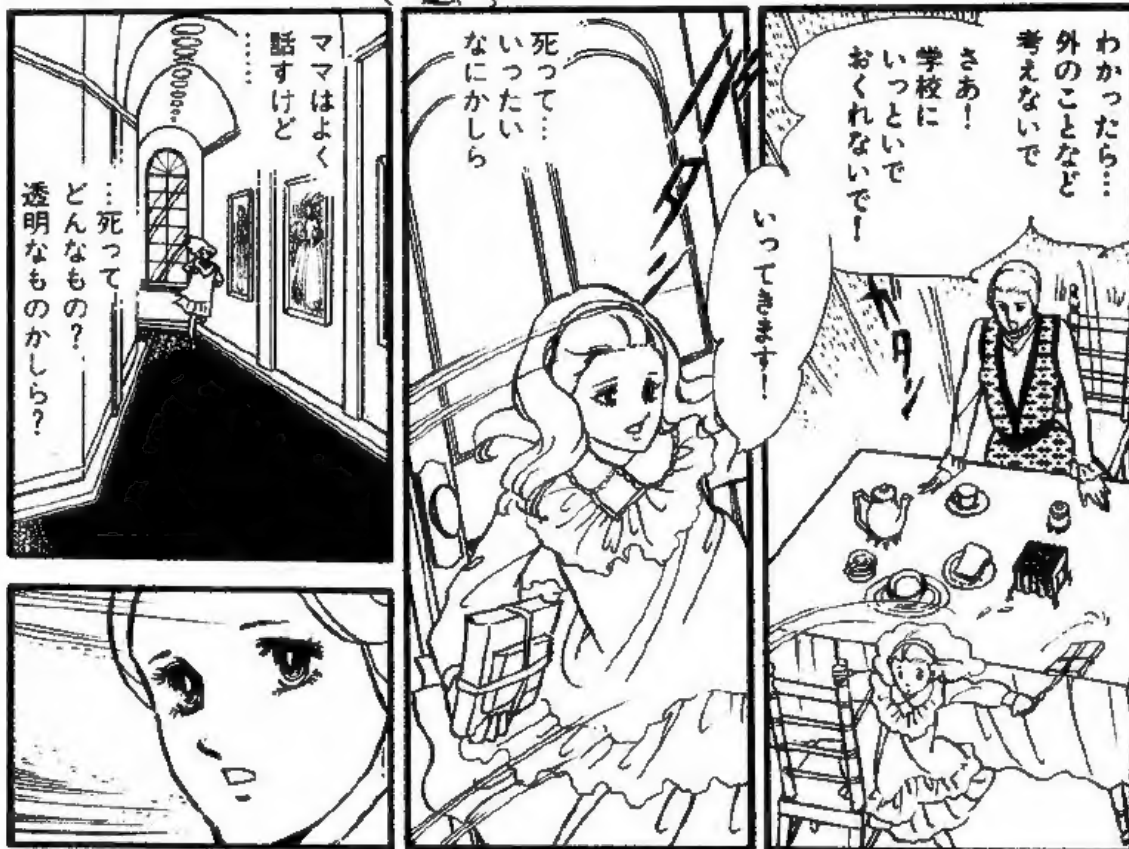
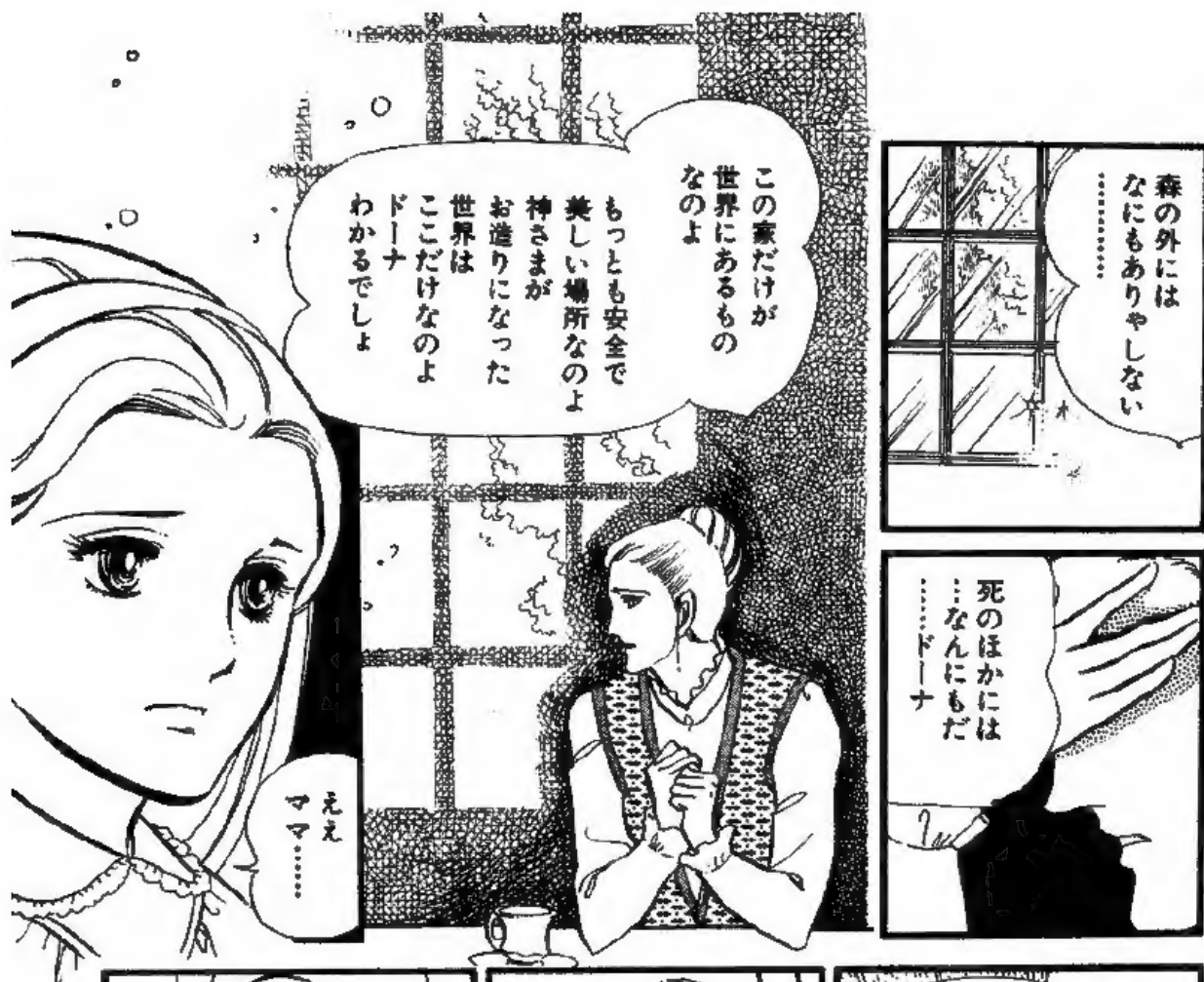
あの人は…
おとうさんは…
むかし森の小道で
怪物に出会って
死んでしまったのよ!

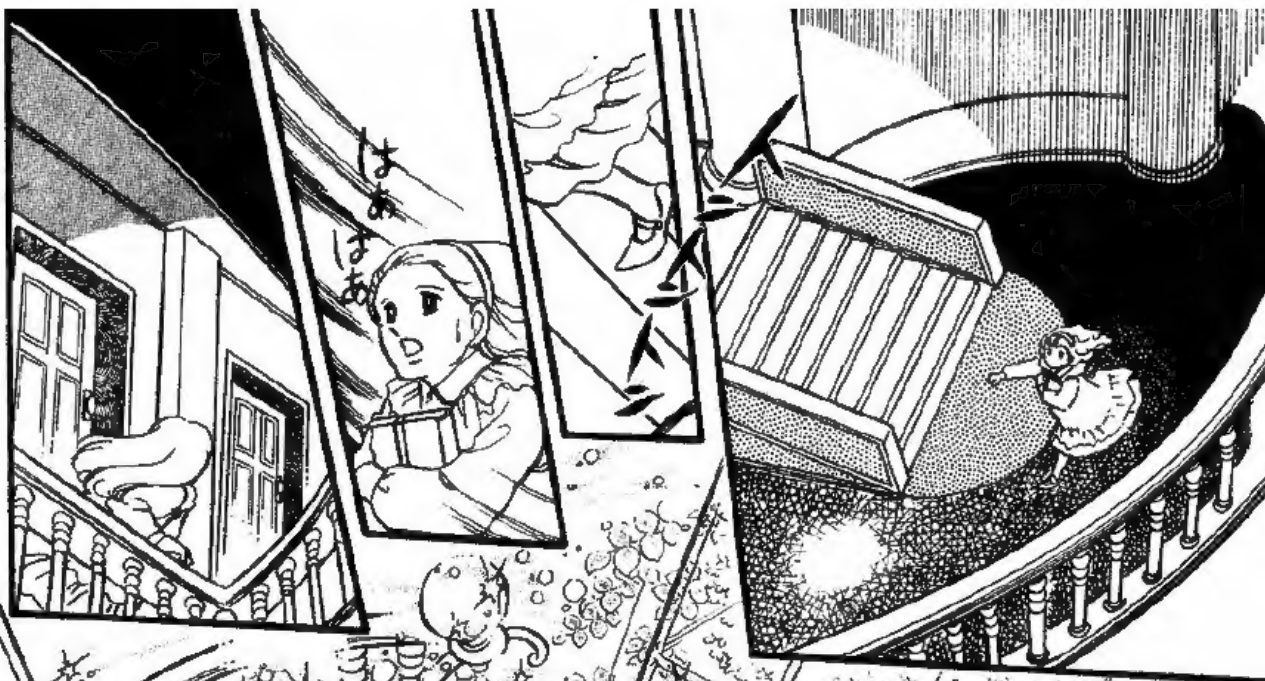
おまえが
生まれる
まえに!

なんども話して
聞かせた
だろう?

なのに
おまえときたら
このごろ
窓にはかり
へばりついて…!



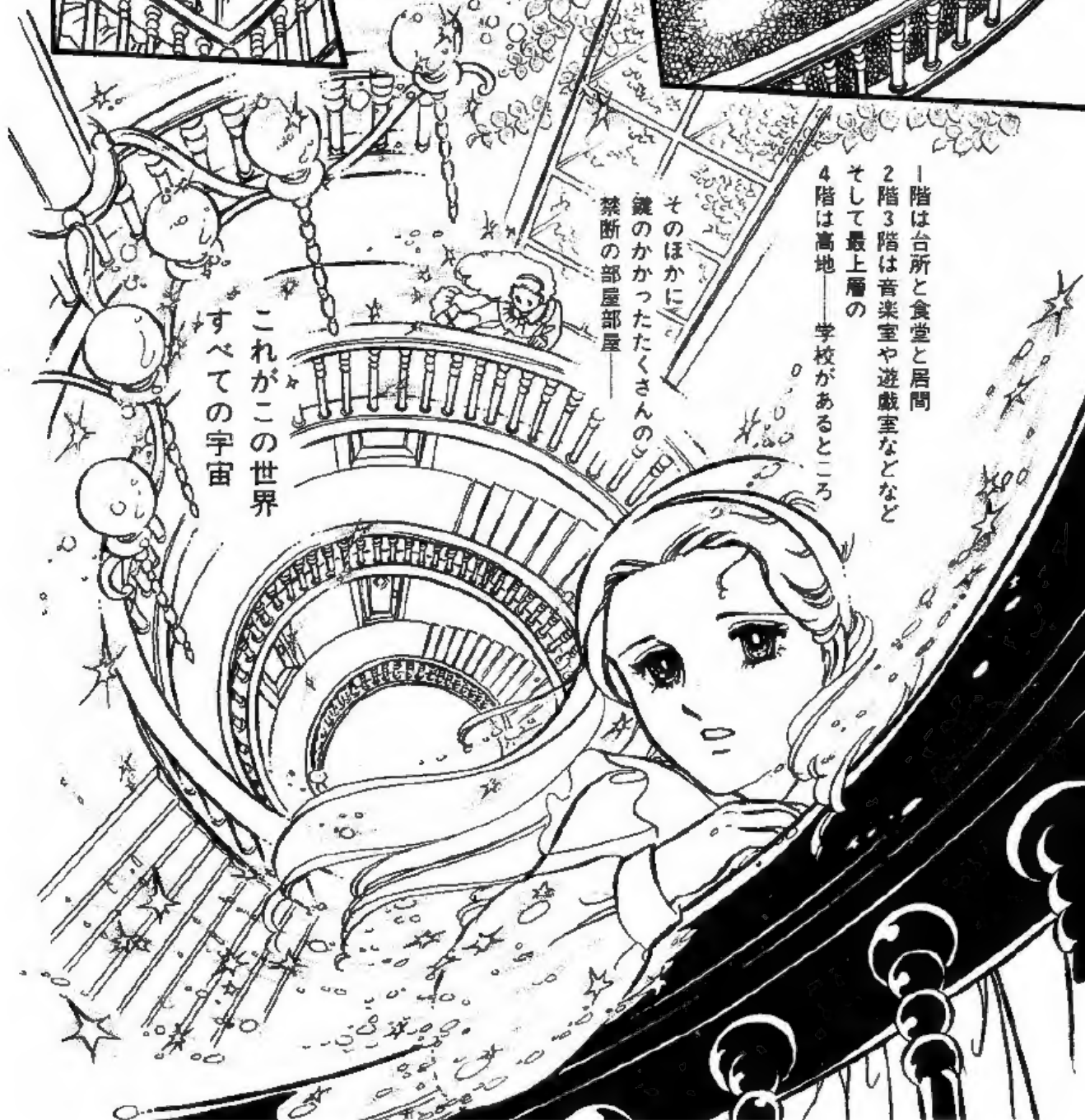


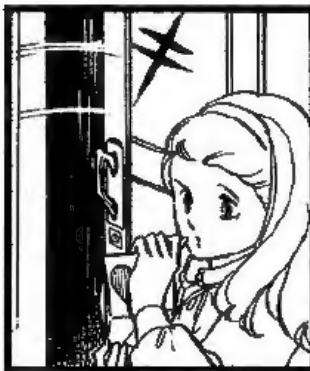
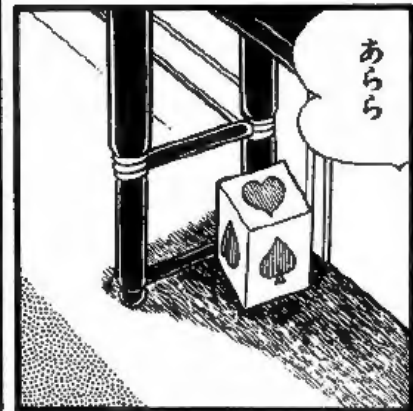
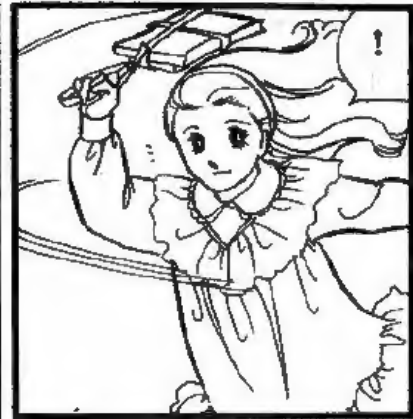


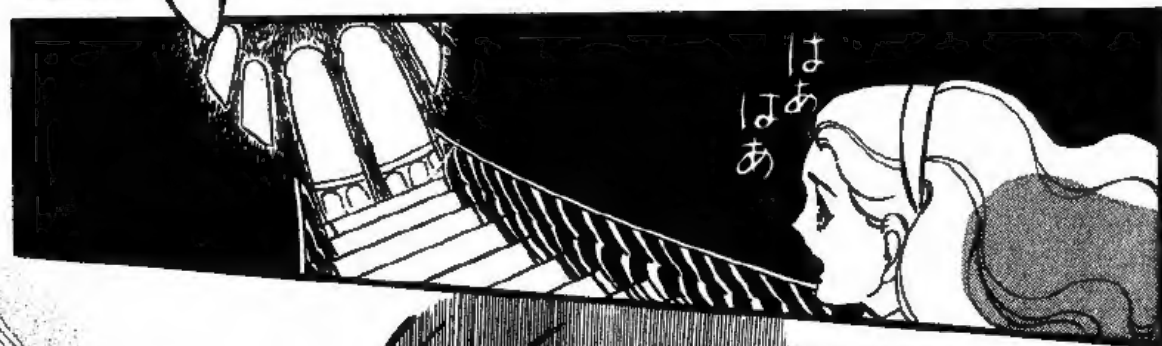
1階は台所と食堂と居間
2階3階は音楽室や遊戯室などなど
そして最上層の
4階は高地——学校があるとこ

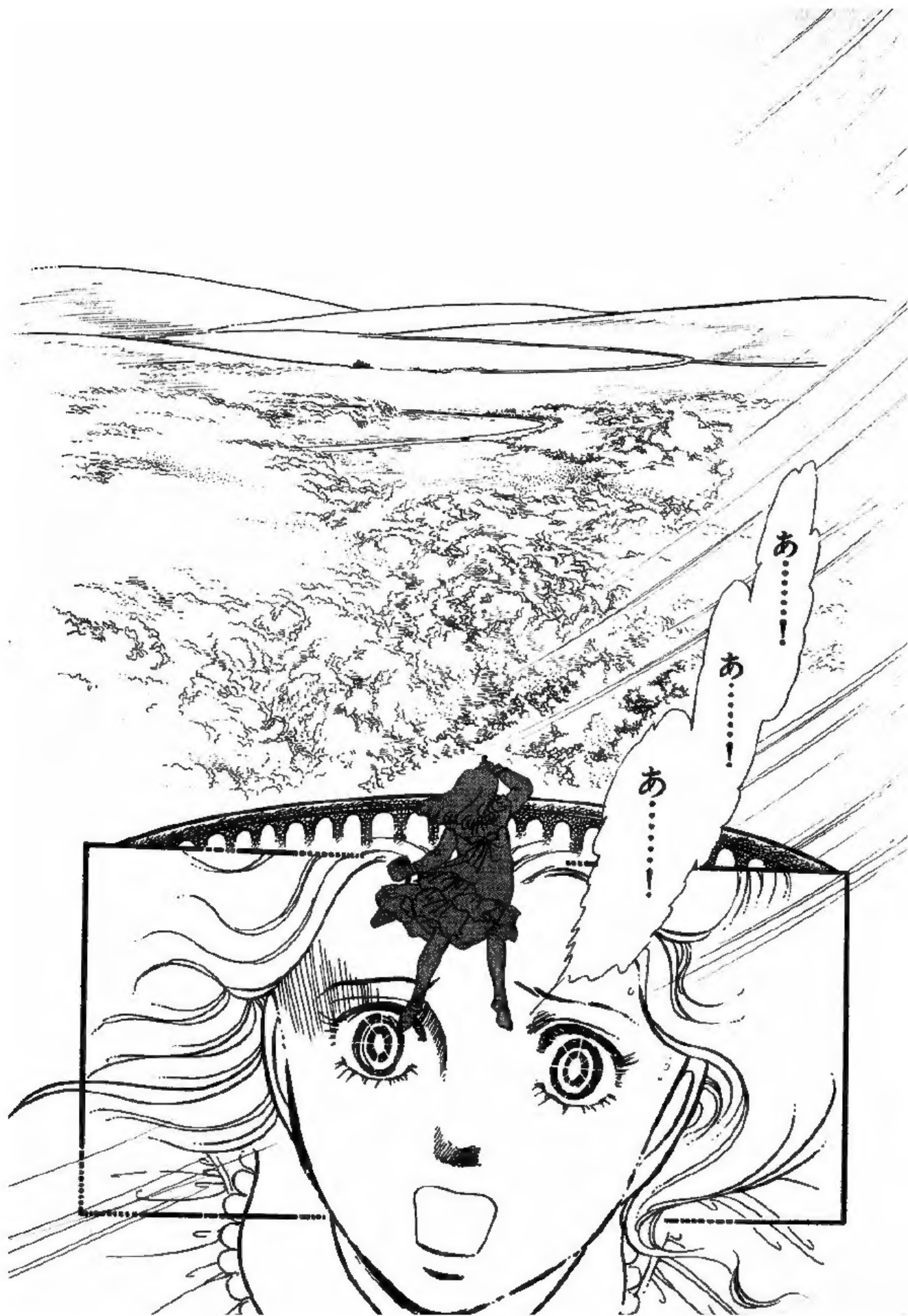
そのほかに
鍵のかかったたくさんの
禁断の部屋部屋——

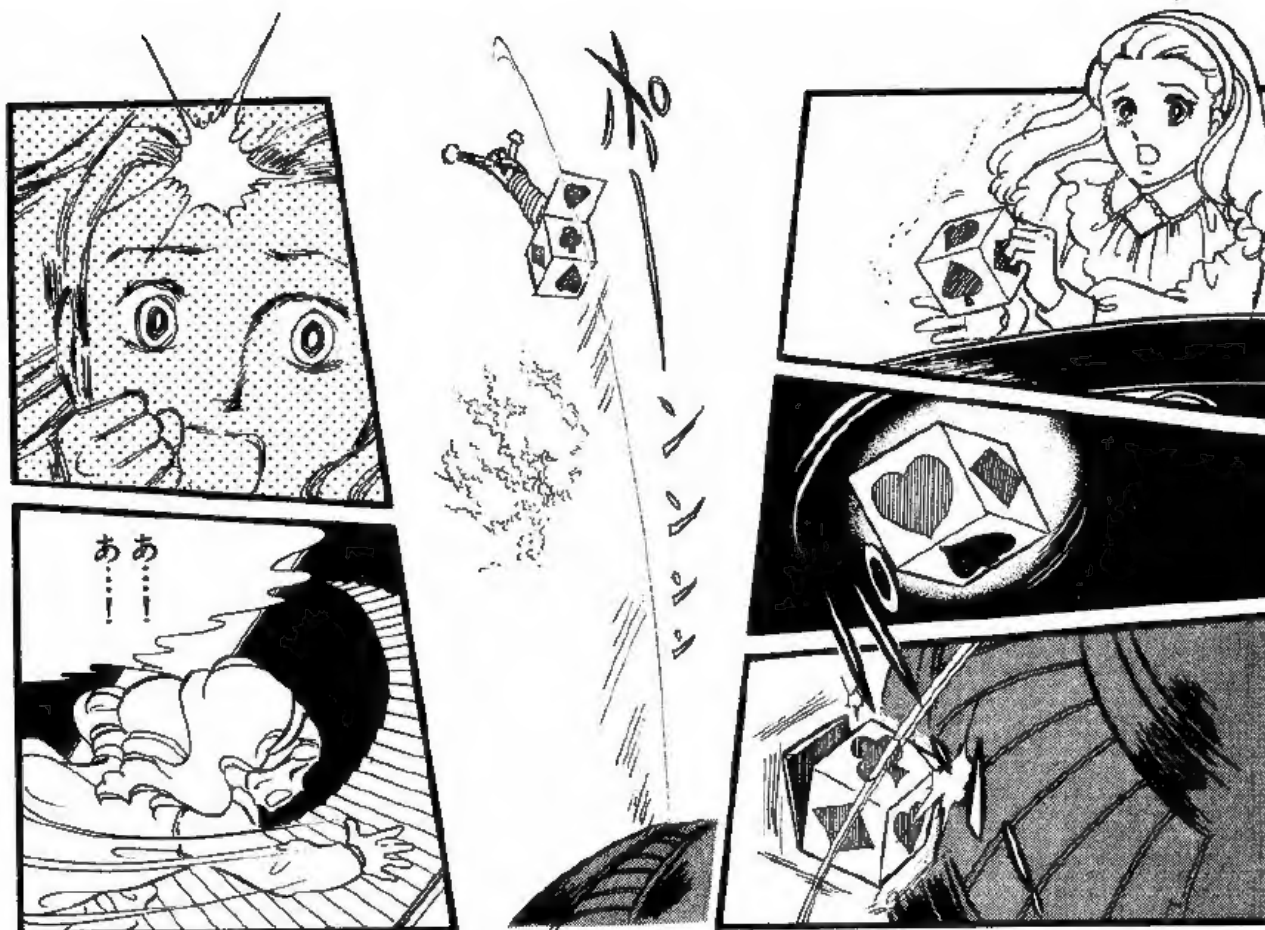
これがこの世界
すべての宇宙

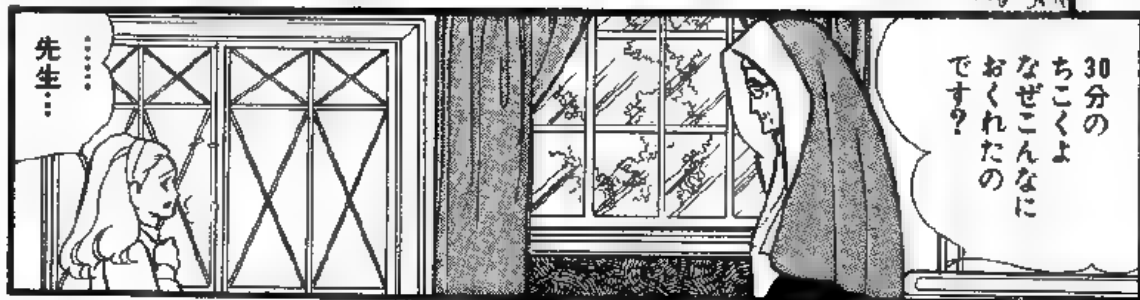












ごめんなさい！
はいっちやいけないのは
わかってました
わかってたけど
どうしても…

階段が上まで
つづいてて…
のぼったんです

…もうしません…
…ごめんなさい…先生…

のぼって…

なにか…見たでしょう

なにを
見たの？

大きな大きな
青い空間…
大きかった…

それから
森のむこうまで
緑色が
あつて…

白いリボンの
上を
小さな
カブトムシが
走ってました
それだけです

すぐおりて
きました
大きくて
こわかったんです

白いリボン…
小さなカブトムシ…
…そう…そう…

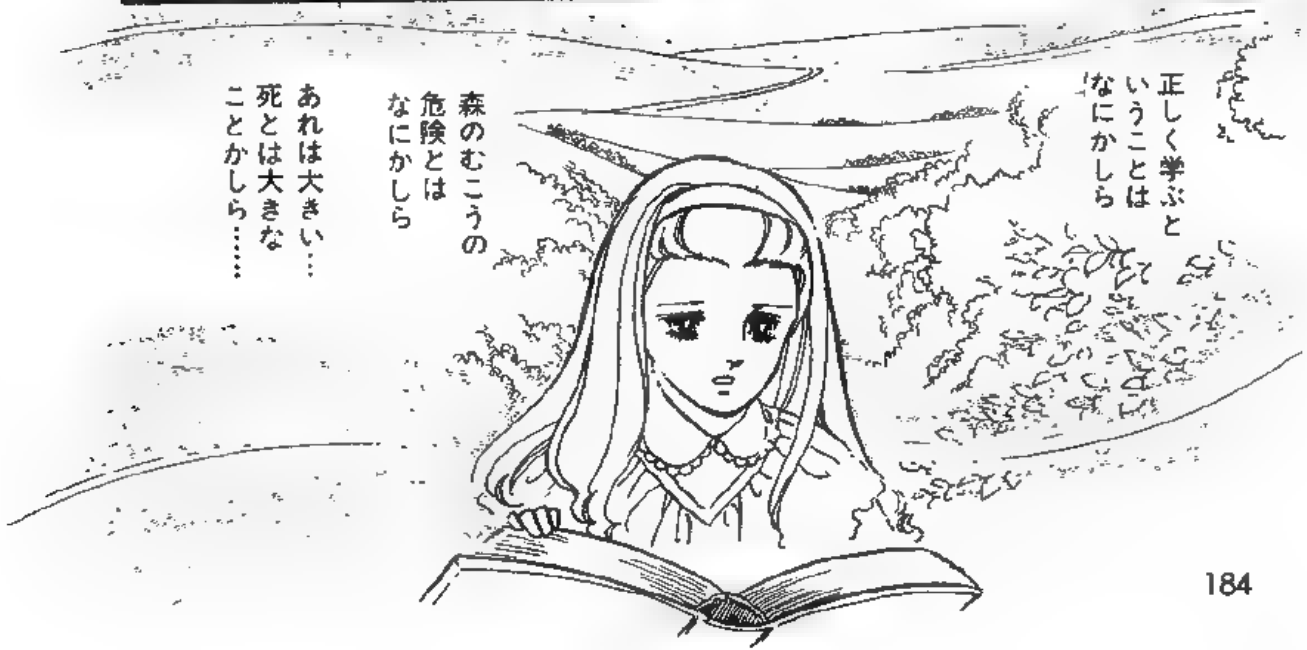
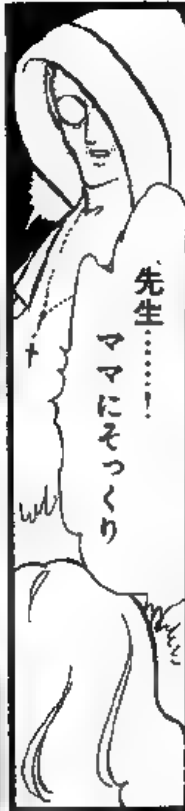
先生 ママには
いわないで

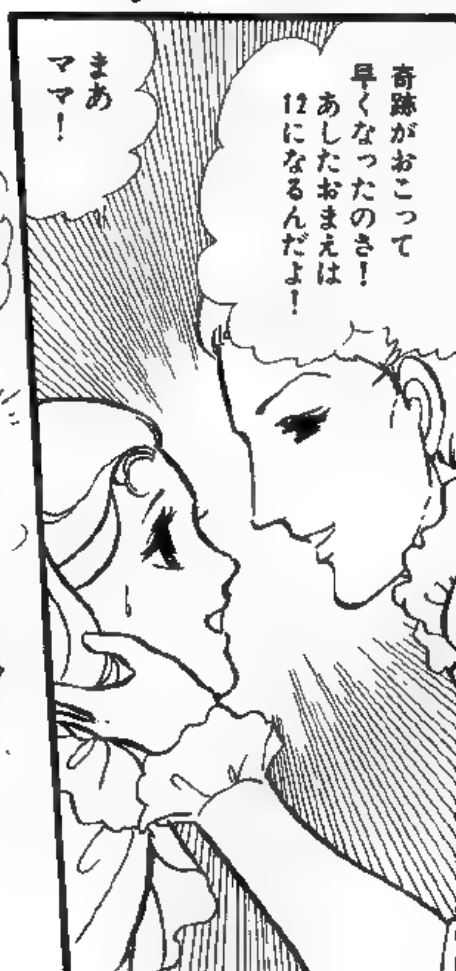
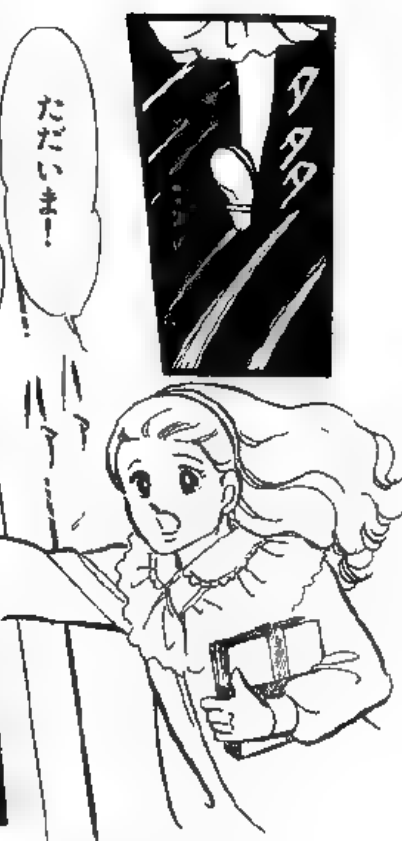
……

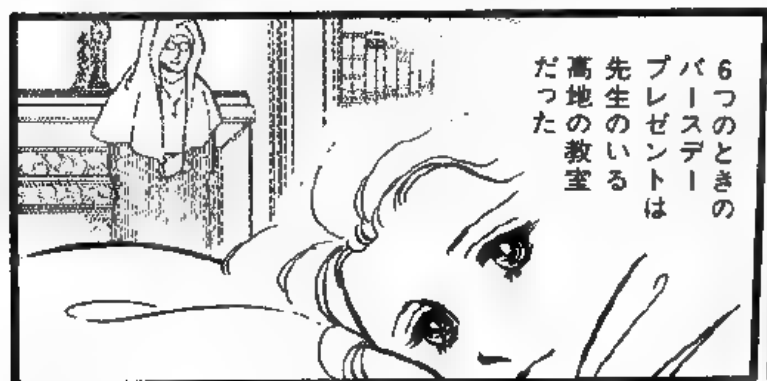
悪いことを
したと
わかるわね

ごめんなさい
もうしません









禁断のドア：
あそこも……？

あのびっくり箱は
どこに落ちたかしら
ならない空間に
なげだされた……

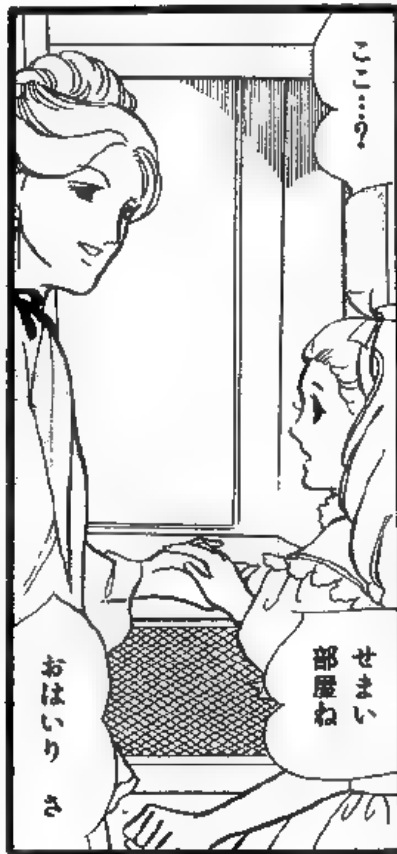
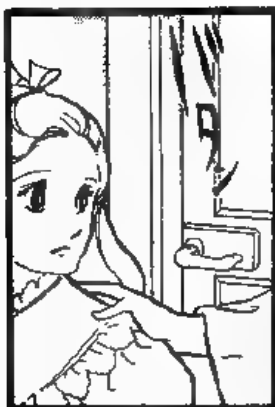
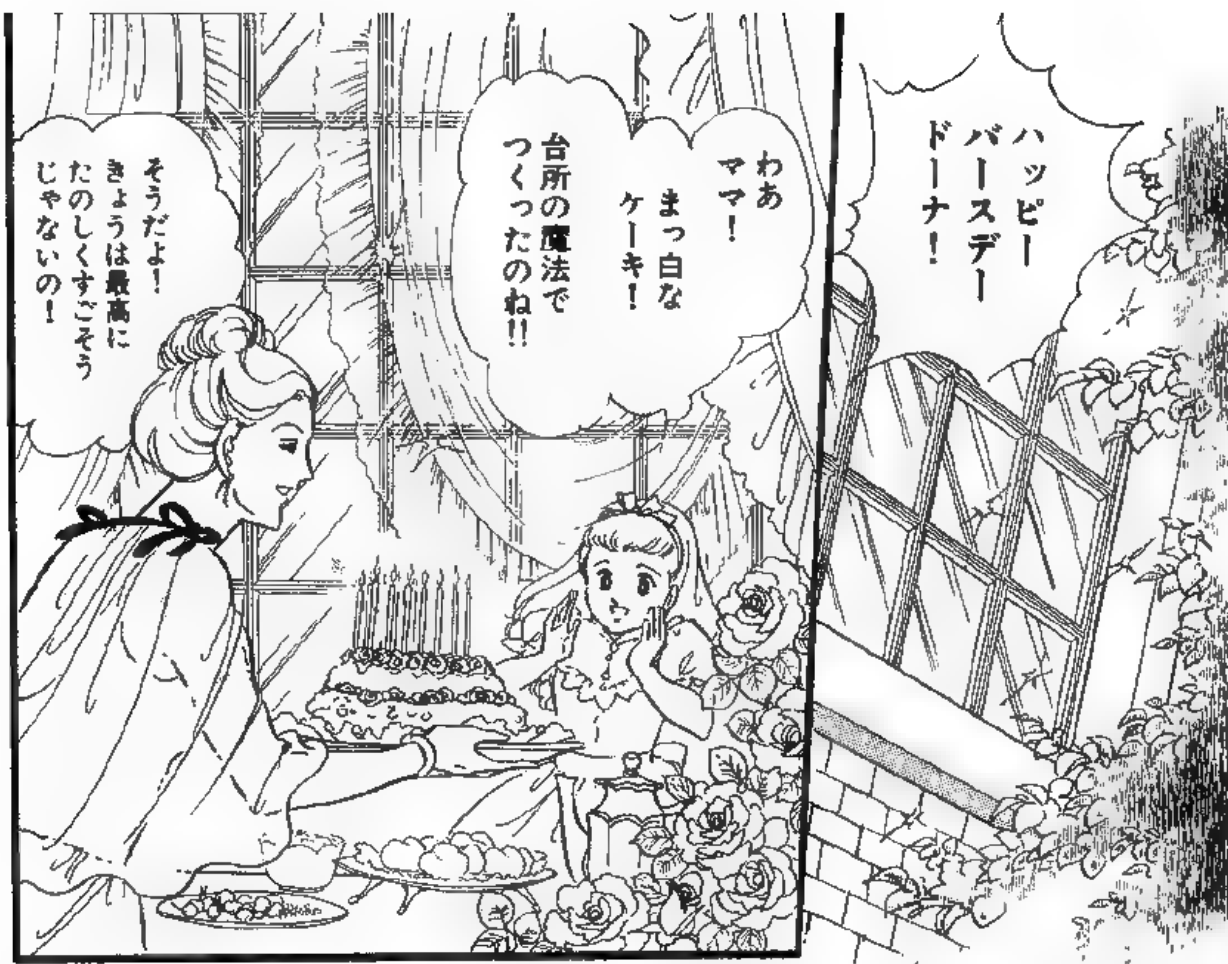
コトコト
コトコト
コトコト

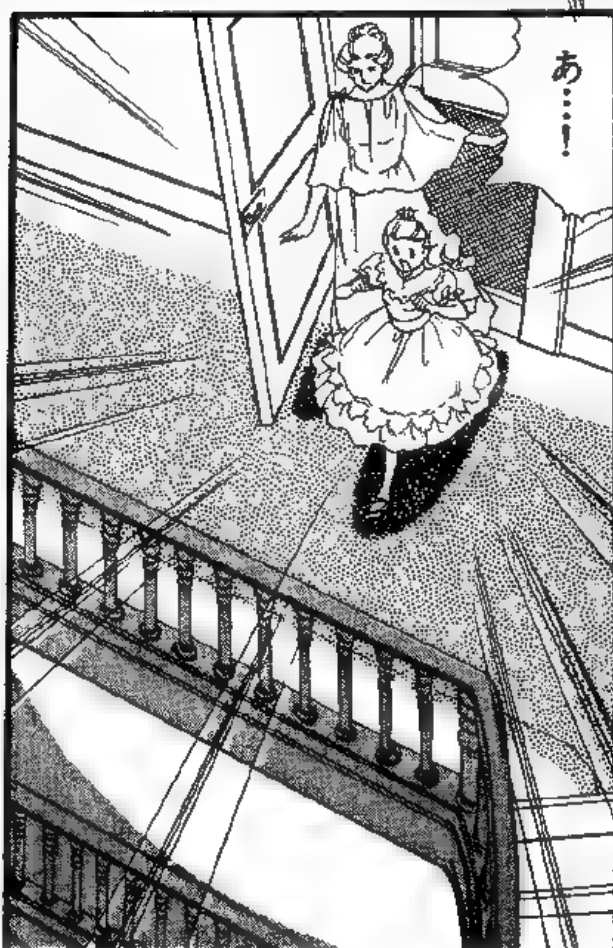
わなにかかって
箱の中に
とこめられた
おもちゃの
さけび

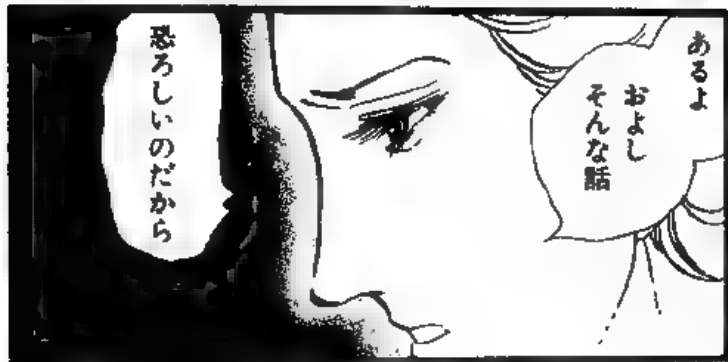
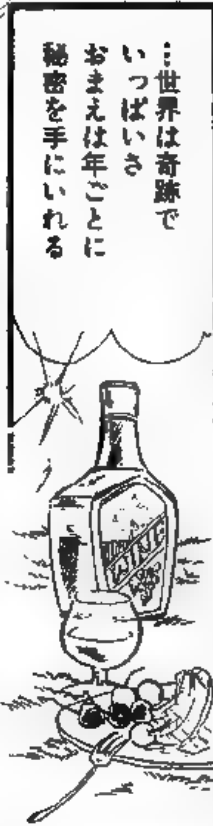
あれはどこに
飛んでいったろう！

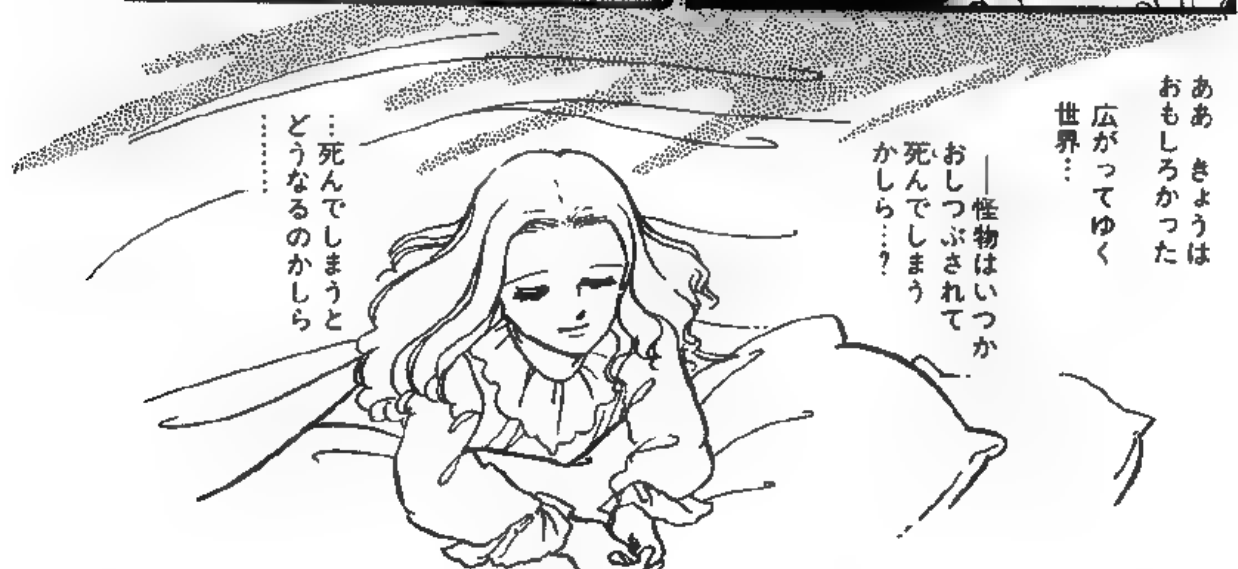
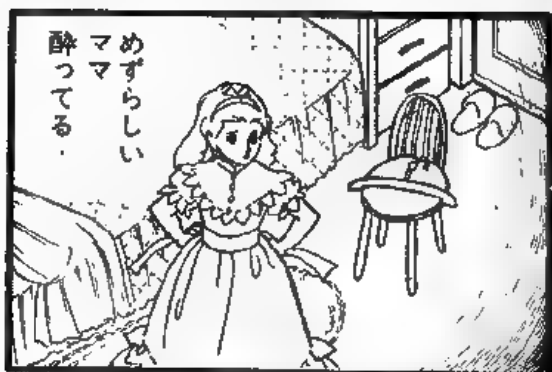
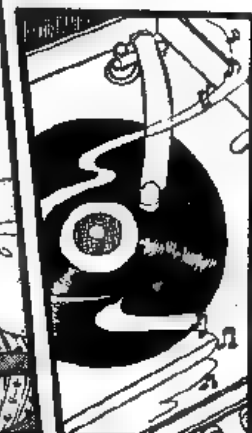
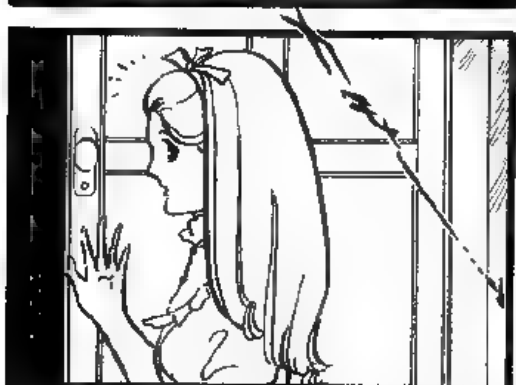
白いリボンを走る
カブトムシに
ふみつぶされた
かもしれない……

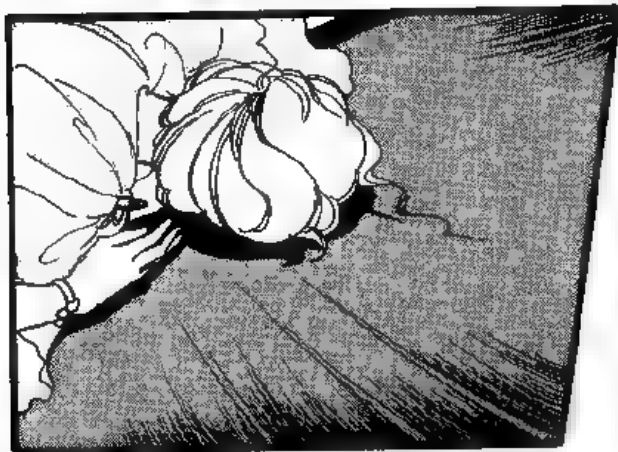


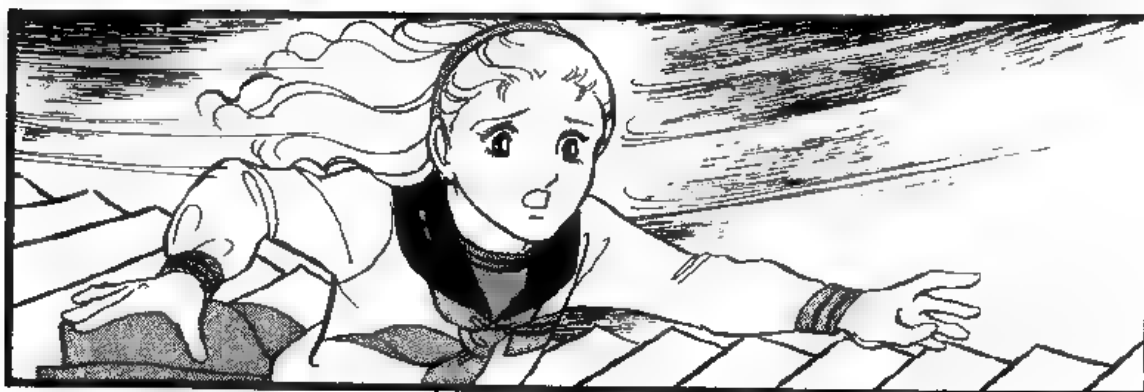


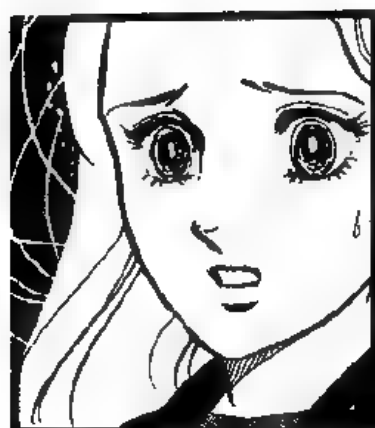
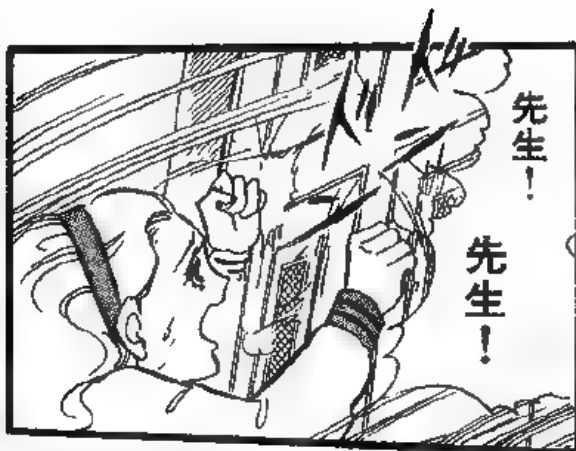


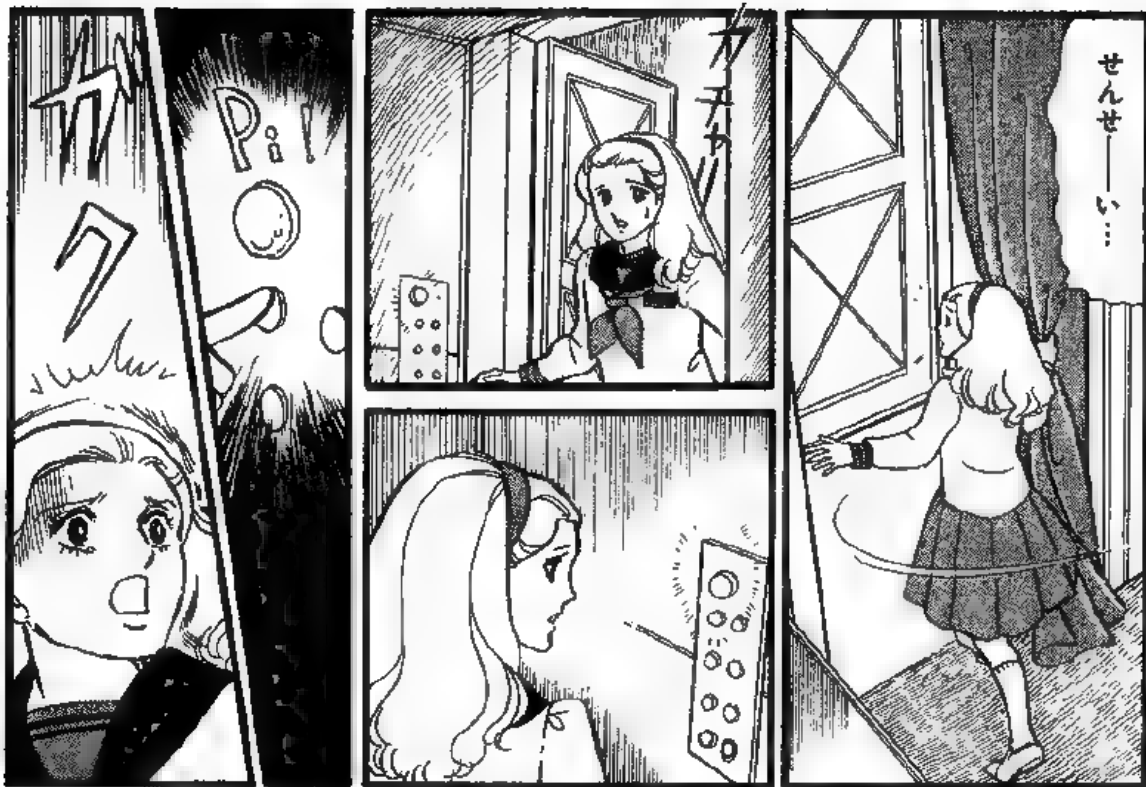


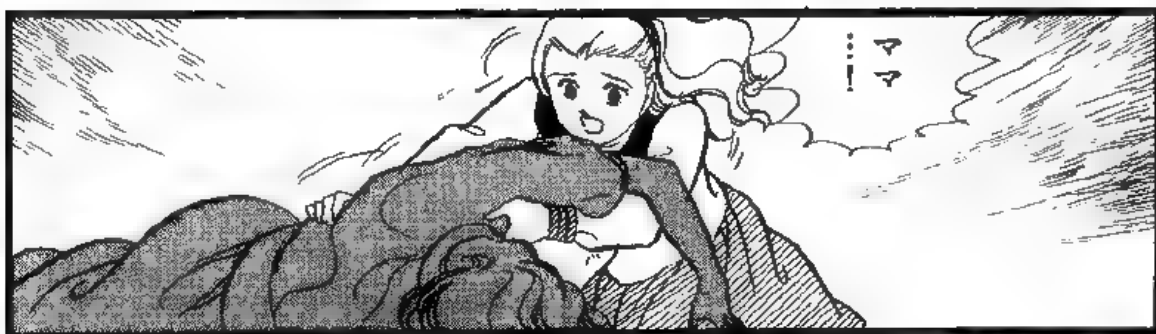
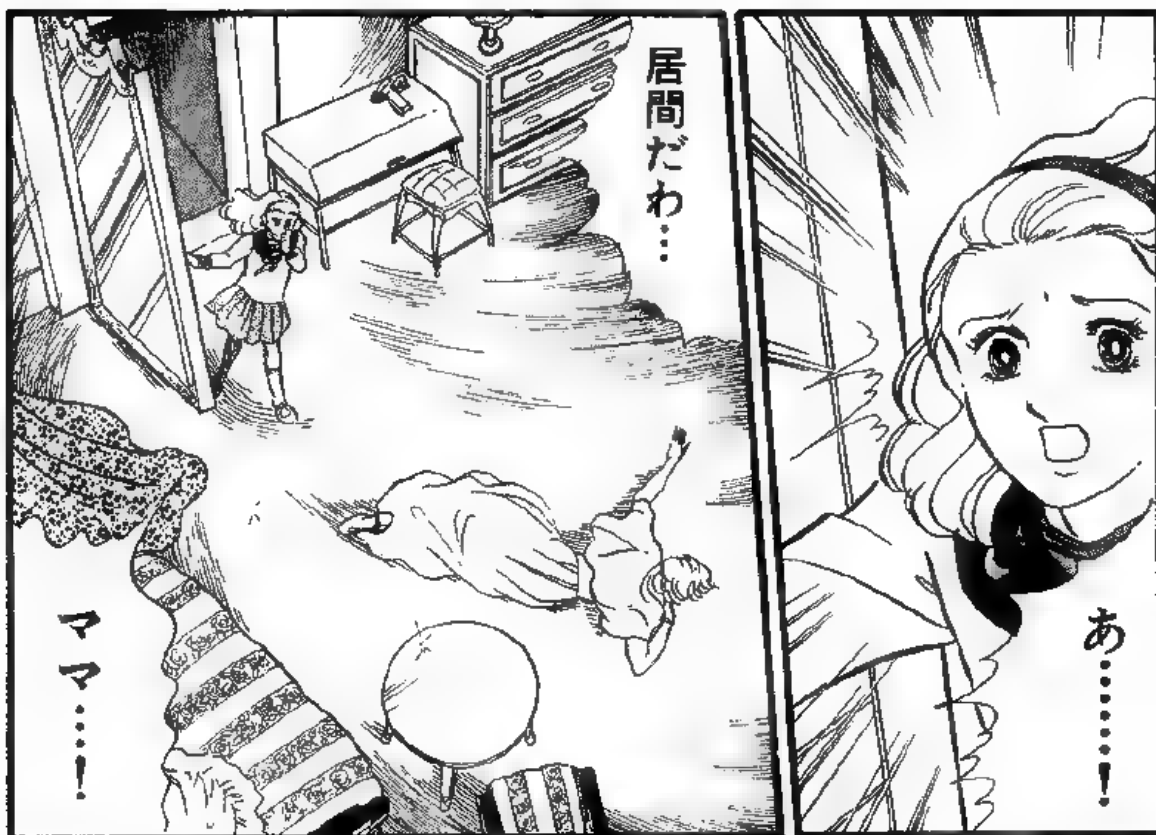




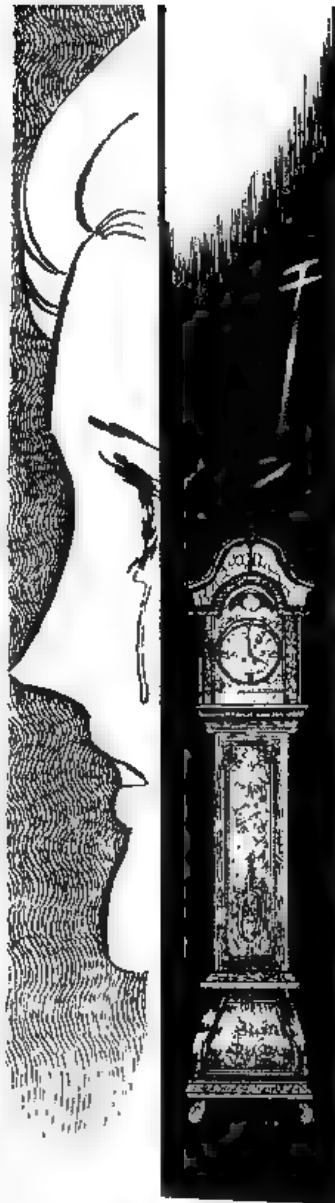
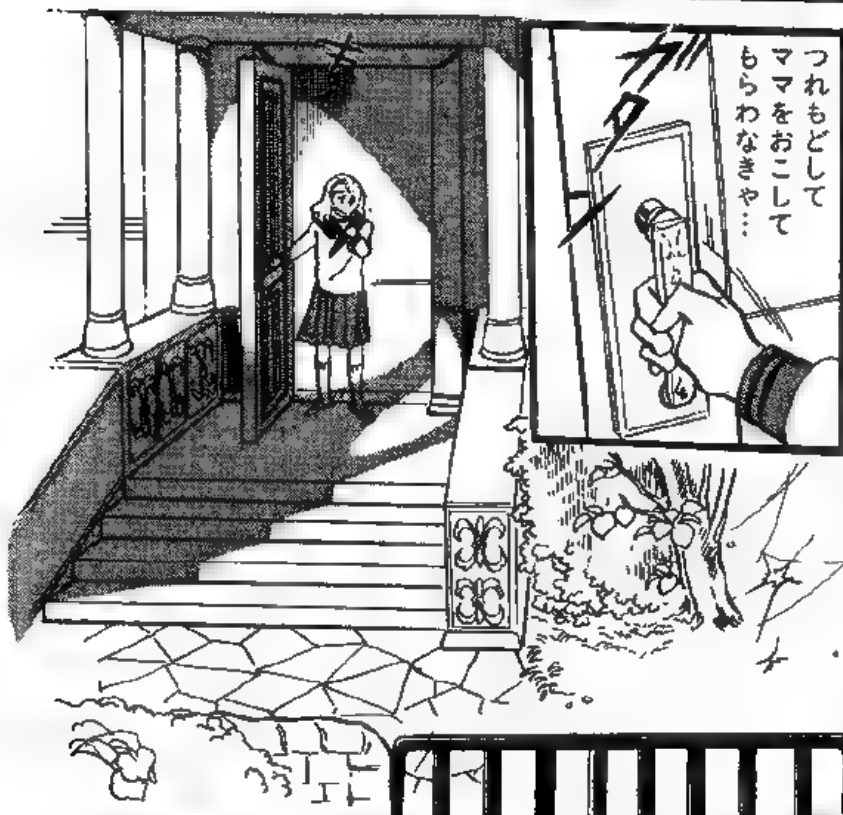
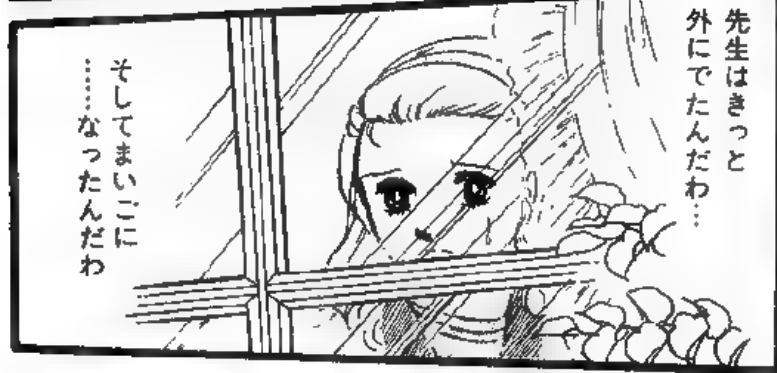


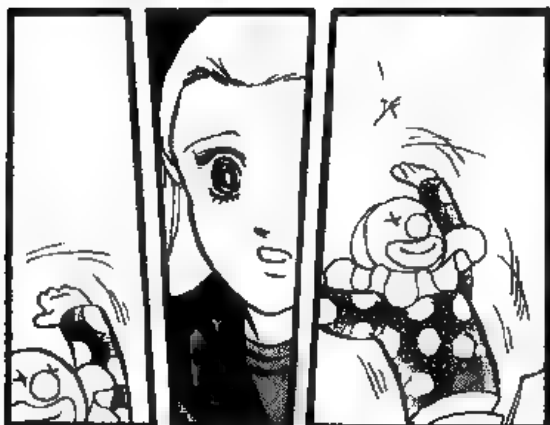


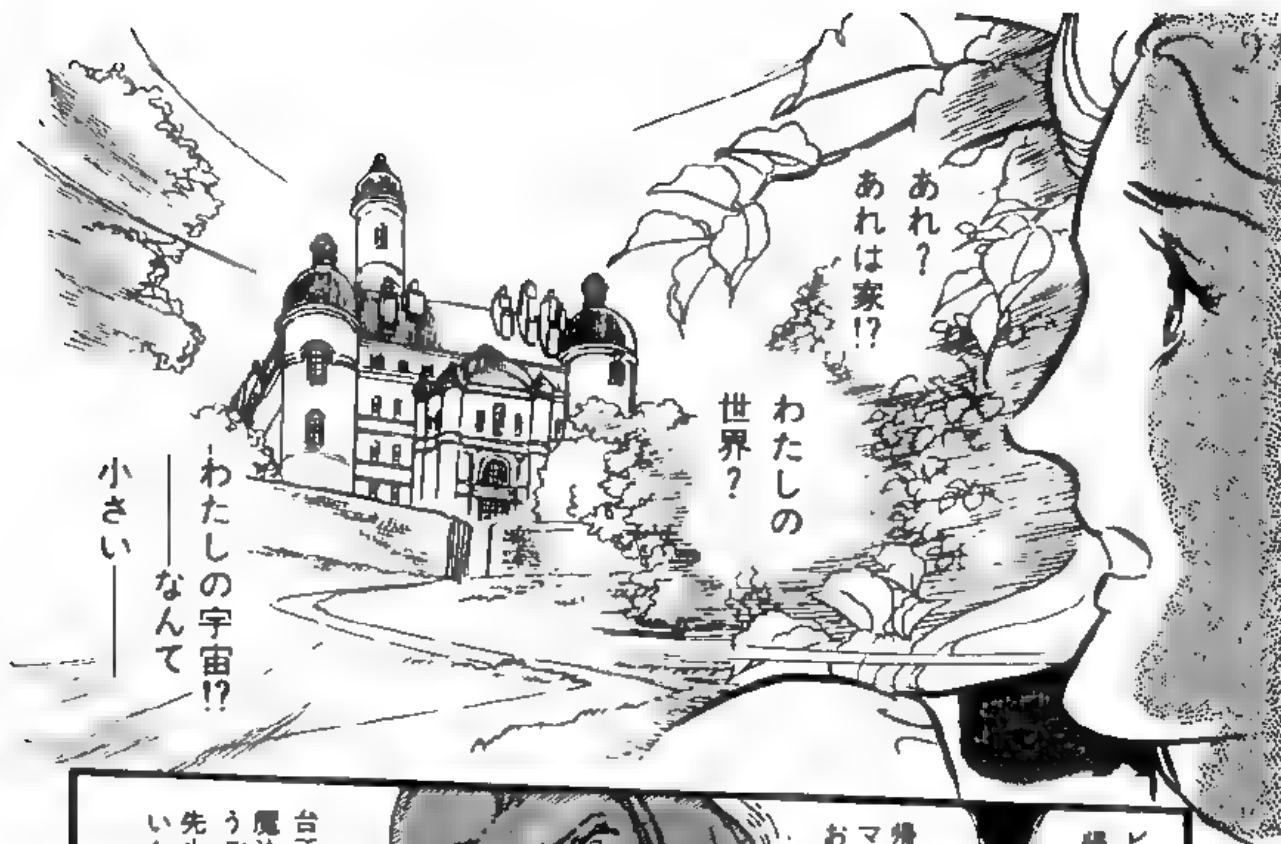












あれ？
あれは家！？

わたしの
世界？

わたしの宇宙！？
——なんて
小さい——



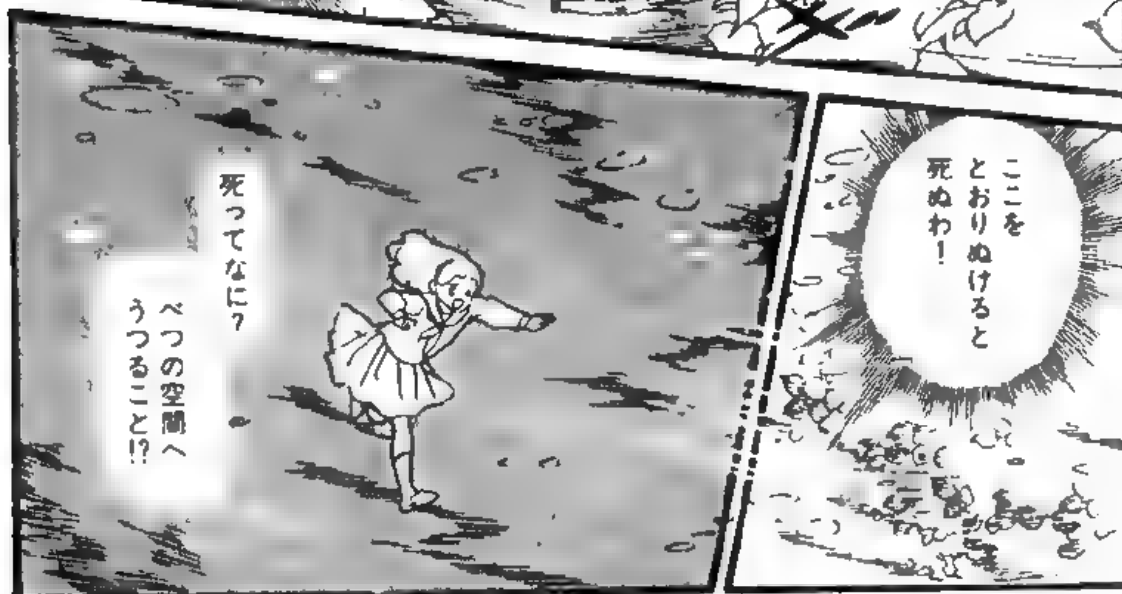
どうするの？
帰るの？

帰っても
ママは
おきないわ

台所の
魔法も
うごかない
先生も
いない



死だ

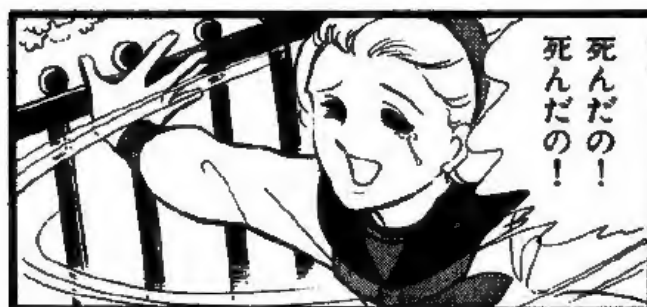


ここを
とおりぬけると
死ぬわ！

死ってなに？

べつの空間へ
うつること！？







死ぬって
こんなに
すばらしい
ことなの！

わたしは
死んだの！
しらな
かった！



あれが
最近流行りだした
子どもの遊びでしような？

